

令和5年度

(令和5年4月1日～令和6年3月31日)

環境経営レポート

エコアクション21



有限会社 金子商事

 990-2251 山形市立谷川三丁目2015番4
TEL023-666-8710 / Fax 023-666-8711

発行日 令和6年4月22日

1、組織の概要

1-1、事業所及び代表者氏名

◆ 有限会社 金子商事

◆ 代表取締役 金子 忠一

1-2、所在地

◆ 【本社】 🏠 990-2251 山形県山形市立谷川 3-2015-4

◆ 【営業所】 🏠 990-2352 山形県山形市大字前明石 124

1-3、環境管理責任者及び担当者連絡先

◆ 環境管理責任者：大木嘉弘 ◆ 連絡担当者：大木嘉弘

◆ 連絡先：TEL 023-666-8710 FAX 023-666-8711

◆ Email：kanekoshoji@bz04.plala.or.jp



1-4、創業・設立年月日

◆ 創業：昭和49年 5月

◆ 設立：平成6年 10月

1-5、資本金

◆ 1,000万円

1-6、事業規模

◆ 売上高：23,100万円 ※令和4年度(令和4.10.1～令和5.9.30)

◆ 従業員数：15名

※ 令和5年10月1日現在

KANEKO

2、対象範囲 認証 登録範囲)

2-1、事業活動の内容 認証 登録範囲)

- ◆ 資源物のリサイクル
- ◆ 一般 産業廃棄物収集運搬

2-2、

❖ 許可範囲

許可の種類	許可権者	廃棄物の種類	許可番号	許可年月日	有効年月日	事業計画の概要
産業廃棄物 収集運搬業	山形県 山形市	燃え殻、汚泥、廃油、廃酸、廃アルカリ、廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、動植物性残さ、ゴムくず、金属くず、ガラスくず等、がれき類	第0611160252号 第13011160252号	R3. 6. 25 R3. 7. 9	R8. 5. 31 R8. 5. 31	県内一円の事業所等で生じた古紙などを当社処理施設に搬入し、中間処理を行い、再資源化します。
産業廃棄物処分業 中間処分 (切断、圧縮梱包等)	山形市	紙くず、金属くず	第13021160252号	R3. 7. 12	R6. 8. 3	県内一円の事業場等で生じた古紙などを受入、圧縮梱包処理を行い、再資源化を行います。
一般廃棄物 収集運搬業	山形市	一般廃棄物	山形市指令ご減 第6-6号	R6. 4. 1	R8. 3. 31	市内事業所で発生する一般廃棄物の収集運搬を行います。
古物商	山形県 公安委員会	-	第241010002166	H16. 11. 11	-	

2-3、

❖ 積替保管施設

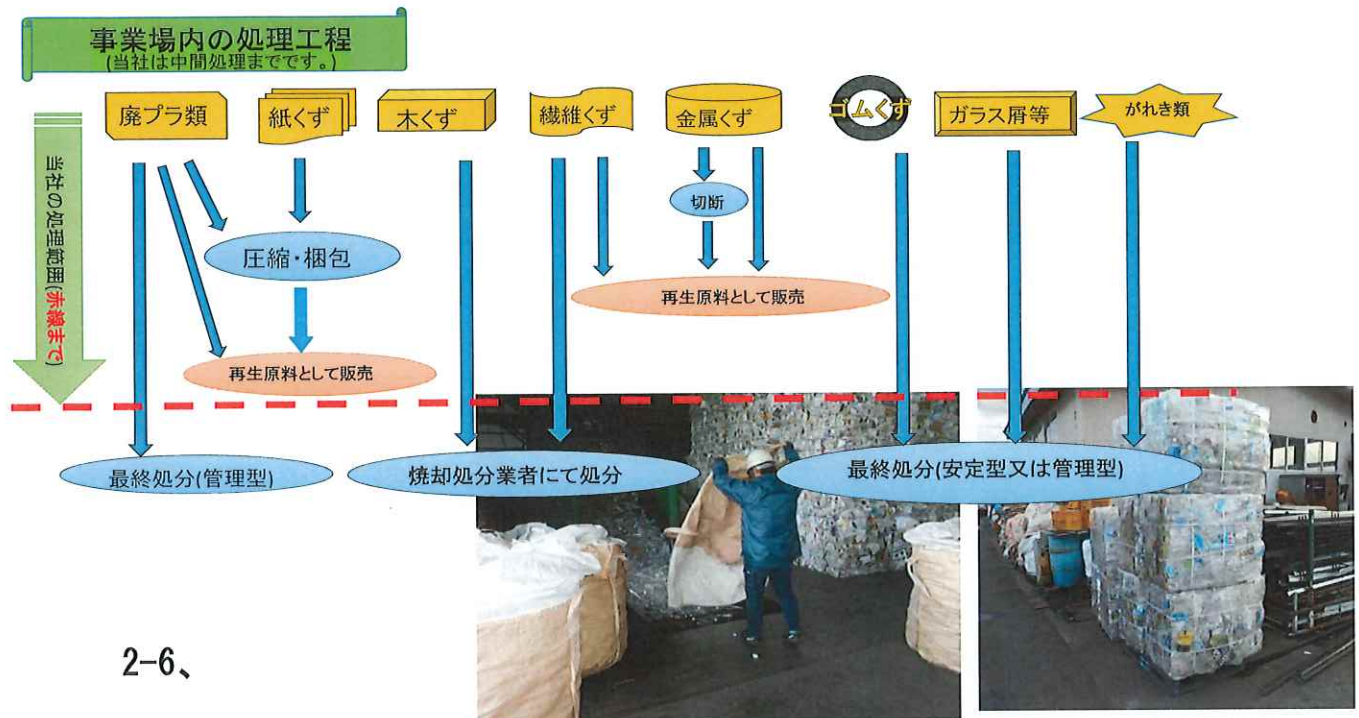
廃棄物の種類	所在地	保管面積	保管上限	積上高さ
廃プラスチック類	山形市立谷川三丁目2015番4 (有限会社 金子商事 本社内)	7. 2㎡	6㎡	0. 9m
木くず		4. 5㎡	4㎡	1m
金属くず		0. 36㎡	200ℓ	0. 8m
ガラスくず		0. 36㎡	200ℓ	0. 8m
汚泥		1. 08㎡	600ℓ	0. 8m

2-4、

❖ 中間処理施設の状況

施設の種類	設置場所	設置年月日	諸元/台数	処理種別・処理能力
切断施設	山形市立谷川三丁目2015番4 (有限会社 金子商事 本社内)	平成20年1月15日	北町機械製 アリゲータシャー 3馬力 / 1 基	金属くず 1.2 t / 日 (8時間)
圧縮梱包施設		平成20年9月19日	渡辺鉄工製 油圧ポンプ式 100馬力 / 1基	紙くず 93.6 t / 日 (8時間)

2-5、



2-6、

❖ 収集運搬・作業車両

NO	種別	ガソリン/ 軽油	排気量	最大積載量	形状
社用・営業車 3台					
①	乗用車	ガソリン	2,49ℓ	—	
②	乗用車	ガソリン	0.65ℓ	—	
産業廃棄物収集運搬車両 7台					
①	商用車	軽油	2,99ℓ	2,000	平ボディ
②	商用車	軽油	7,79ℓ	2,500	ユニック付車
③	商用車	軽油	7,16ℓ	3,950	脱着装置付コンテナ専用車
④	商用車	軽油	7,16ℓ	1,950	塵芥車
⑤	商用車	軽油	5,19ℓ	3,050	ウイング車
⑥	商用車	軽油	7,16ℓ	3,950	脱着装置付コンテナ専用車
⑦	商用車	軽油	8,20ℓ	2,250	ユニック付車
有価物収集運搬車両 3台					
①	商用車	軽油	2,99ℓ	2,000	平ボディ
②	商用車	軽油	2,99ℓ	2,000	平ボディ
③	商用車	軽油	2,99ℓ	2,000	平ボディ
構内作業車両 6台					
①	構内のみ	軽油	フォークリフト		
②	構内のみ	軽油	フォークリフト		
③	構内のみ	軽油	フォークリフト		
④	構内のみ	軽油	ホイールローダー		
⑤	構内のみ	軽油	バックホー		



2-7、

❖ 活動規模

活動範囲	単位	令和4年度	備考
製品販売及び処理量	t	13,910	
売上高	百万円	231	
従業員	人	15	
敷地面積	m ²	2,973	本社
建物床面積	m ²	920.43	本社

❖ 再生原料として売却した主要物品数量 令和4年度

種類	品名	数量 (t)
金属くず	鉄屑	50,600
	非鉄屑	24,000
	雑品	0
	小計	74,600
紙くず	新聞・雑誌・段ボール	64,500
合計		139,100

2-8、

❖ 一般廃棄物処理業務 実績報告

※期間（令和4年10月～令和5年9月）

※山形市提出、一般廃棄物処分業実績報告書(R5/4～R6/3)より

種類	収集量 (kg)	処 分 量 (kg)					
		山形市の施設			その他の施設		
		焼却	埋立	その他	焼却	埋立	その他
可燃	4,307	1017			3,290		

注： 当社では、一般廃棄物の収集のみで、処分は山形市及びその他施設に委託しております。
一般廃棄物の「不燃物」及び、し尿の「生し尿」・「浄化槽汚泥」の収集、処分は行っておりません。

2-9、

❖ 受託した産業廃棄物の処理量

令和5年度（令和5年4月～令和6年3月）

処理方法等		廃棄物等種類	処分方法等	処理量(t)
(i)収集運搬		廃プラスチック		59.63
		ガラスくず		0.00
		木くず		47.81
		金属くず		0.00
		熱硬化樹脂		0.00
		発砲スチロール		0.00
収集運搬量合計				107.44
(ii)中間処理				0.000
	うち 再資源化等			0.000
		再資源化等量小計		0.000
中間処理合計				0.000
(iv)中間処理 後の産業廃棄物	最終処分			
	再資源化等			
		再資源化等量小計		0.000
中間処理後処分量合計				0.000

注： 産業廃棄物処分業許可はありますが、全数売却の為、中間処理の実績はありません。

当社の場合、**再資源可能な資源物** に関しては、「**予め産業廃棄物としてではなく、有価で買取り**」、再生原料として問屋に販売致します。

3、環境経営方針

3-1、環境理念と環境方針

【環境理念】

当社は、山形県都の山形市立谷川工業団地に立地し、日常生活に密着したリサイクル事業を積極的に展開しながら、循環型社会やまがたの構築に向け精進していくことを基本理念に据えております。

3Rに始まり、時代に見合った廃棄物処理の業務はもとより、再資源化に向けた改善とその為の常の努力を怠らず、豊かな自然環境の創造を目指して参ります。

今後、エコアクションシステムの導入で、更なる環境負荷削減への取り組みを促進していくことを誓約致します。

【環境方針】

◆法規制の順守

環境関連の法規、条例、規則等及び廃棄物処理、清掃に関する法律を遵守します。

◆環境に配慮した事業活動の推進

- 1、運搬車両のエコ運転や収集ルート効率化で、二酸化炭素排出量を削減します。
- 2、中間処理施設にかかる最大電力の抑制と、節電の徹底で、電力使用量を削減します。
- 3、排水量削減に向け、水利用の作業時間短縮化を推進します。
- 4、適正な分別で、社内より排出する廃棄物量を削減します。
- 5、買取した有価物の再資源化率の向上とともに、有価物等の在庫管理をしていき在庫をなるべく減らすようにしていきます。
- 6、環境経営システムを定期的に見直し、継続的に改善していきます。

◆環境保全活動への取組み

- 1、社員の環境に対する意識向上のため、計画的に環境教育を行います。
- 2、地域の環境保全活動に協力します。

地域社会との連携・協力はもとより、環境保全活動にとって優れたシステムや情報は、

必要に応じ公開し、社会に貢献してまいります。

制定日 平成27年 11月 1日

改訂日 令和4年 4月 1日

有限会社 金子商事
代表取締役 金子 忠一

3-2、環境活動の取り組み計画と評価

◎達成80%以上 ○達成率60%

△達成率60%以下 ×達成率30%以下

「環境に配慮した事業活動の推進」【環境方針】より

取り組み計画	達成状況	評価（結果と今後の方向）
二酸化炭素排出量の削減【電力の削減】		
・圧縮梱包作業の効率化（設備のムダな稼働制限）	△	圧縮梱包機の起動時にかかる電力量を使用効率化で抑制、屋内においては、室内灯のLED化や不在個所の空調停止を徹底。さらに、電灯・エアコン・パソコンのスイッチ部に「節電」を謳うシール貼付し意識を高めることで、期間の目標は達成できた。今後は、日中作業の効率化を図り、夜間電灯使用の削減も進めていく。
・室内灯のLED化	◎	
・不在個所の節電と省エネ機材の活用	△	
・空調箇所の限定と不要箇所の空調停止	○	
・電灯、エアコン、電化製品のスイッチ部「節電」シールの貼付	◎	
・夜間電灯の使用消滅（日中作業の効率化）	△	
・「中期計画」		
・屋外作業灯をLED化	△	
・設備の新規、更新時は省エネタイプの導入	△	
・最大電力管理の為にデマンドメーターの設置	×	
二酸化炭素排出量の削減【自動車燃料の削減】		
・収集運搬車両や社用車のエコ運転	○	軽油、ガソリン共に前年度より燃費削減できた。冬期間の燃費の悪さもある中で良かったと思う。次年度も引き続き、燃料削減に努める。週1回のミーティング時に、実施している運転講習会や車毎に燃費を公表することで、社員一人一人が、エコ運転の方法を共有することができた。今後は、収集ルートの効率化を検討しながら、次年度からも目標達成に努めていく。エコカーへの切り替えも検討。
・効率的なルートの検討	○	
・車両ごと燃費確認	△	
・社内の運転講習実施（エアコンの制限他）	○	
・定期的な点検整備の実施	△	
・「中間計画」		
・燃費の良い車両への代替	△	
・社内の運転講習会の定例化	△	
排水量の削減【水道水の削減】		
・日常的な節水（ポスター等の掲示）	○	前年度より使用量が増加。洗車時のこまめな水道を閉めるなどを行い節水に努め、使用量削減に努めていきたいとします。漏水のチェックなどは定期的に行う。
・冷却用クーリングタワーの作動管理	△	
・水使用作業（融雪、洗車）の短時間化	△	
・定期的な漏水管理	○	
「中期計画」		
・融雪利用個所の特定化	△	
・融雪システムの変更を検討	△	
廃棄物排出量削減【一般廃棄物の削減】		
・分別の徹底と、ゴミ箱の削減	△	例年、実施している工場内の清掃および再資源化が見込めない古紙等処分により、一時的に一般廃棄物の排出が増えた。引き続き、より適正な分別と不要なものを会社に持ち込まないことを意識させ目標達成に努力する。
・印刷物の消滅と裏紙使用	○	
・資源化不能古紙等の削減	△	
「中期計画」		
・資源化不能古紙等の恒常的な削減	△	
・社内でのペーパーレス化で排出紙の削減	△	

「環境に配慮した事業活動の推進」

【環境方針】より

有価物の在庫管理【買取した有価物の商品化の向上】			当社はリサイクル業でありますので有価物として買取した物品を分別し売却しています。そのため、買取りした物品の在庫管理、売却した数量を管理していく。そのため買取できる業者の選定も同時に模索していきたい。相場のチェックをこまめに行い、できるだけ在庫を残さないようにする。
・再資源化するための作業方法の検討（素材の細分化等）	○		
・資源化できるリサイクル業者の開拓	○		
「中期計画」			
・安定した買取供給量の確保と作業場所の管理	△		
・素材別リサイクル業者の複数取引化	△		
・売値相場のチェック	○		

「環境保全活動への取組み」

【環境方針】より

社員への環境教育の実施	○	環境教育に関しては、山形市「ゴミゼロやまがた推進BOOK」などを使い、3Rのポイントに係る教育など、週1回のミーティング等で実施しており、今後も継続していきたい。又、保全に関しては、毎年、雪解けのこの時期は、構内のグレーチングや周辺道路の側溝に、かなりの土砂やごみが堆積しているため、毎朝の周辺清掃に加え、全社員で側溝清掃も実施した。今後は、近隣の団地組合員とも協力して美化清掃に努めていきたい。
地域の環境保全活動への協力	○	

3-3,

【環境目標と実績】

実施期間：令和5年4月～令和6年3月

方針	種類	数 値		基準値	基準目標 (R5/4～ R6/3)	実績 (R5/4～ R6/3)	達成状況	○/×
二酸化炭素 排出量削減	使用電力の 削減	C O 2 排出量目標 (k g - C O 2)		20,494	20,084	21,514	4.9% 増加	×
	燃料の削減	C O 2 排出量 目標(kg-CO2)	L P G	54	52	41	24.1% 削減	○
			灯油	8,996	8,816	9,983	10.9% 増加	×
			軽油	93,085	91,223	90,970	2.27% 削減	○
			ガソリン	11,755	11,519	10,598	9.8% 削減	○
排出量削減	上水道利用 の削減	総量 (m³)		190	186	137	27.8% 削減	○
廃棄物削減	自社分廃棄 物の削減	総量 (k g)		74,650	73,157	30,581	59.1% 削減	○

注：購入電力の排出係数 0.496（令和5年度東北電力より）として計算しております。

（令和5年4月～令和6年3月迄のco2換算前データ）

項目	目標値	対象期間実績	達成状況	○/×	備考
使用電力の削減	46.464kwh	45.197 kwh	2.7%削減	○	
燃料の削減					
・ガソリン	5.063ℓ	4.565ℓ	9.8%削減	○	
・軽油	35.470ℓ	34.664ℓ	2.3%削減	○	
・L P G	18kg	14kg	22.2%削減	○	
・灯油	3.610ℓ	4.006ℓ	10.9%増加	×	

3-4,

□ 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果
並びに違反、訴訟等の有無

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りである。

適用される法規制	適用される事項 (施設 物資 事業活動等)
山形県産業廃棄物の処理に関する指導要綱	産業廃棄物処分業の許可申請及び各種変更
廃棄物処理法	一般廃棄物（紙くず、繊維くず、木くず等）、 産業廃棄物（廃プラスチック類、金属くず、污泥、 木くず、ガラスくず等）
家電リサイクル法	特定家庭用機器の排出 （テレビ 液晶、プラズマ含）、エアコン、 冷蔵庫及び冷凍庫、洗濯機、衣類乾燥機）
小型家電リサイクル法	使用済小型電子機器の排出 （パソコン、携帯電話、デジタルカメラ、CDプレーヤー等々）
フロン排出抑制法	業務用空調機、エアドライヤー、冷水機等
騒音 振動規制法	切断施設 圧縮、梱包施設
消防法（危険物）	第4種 灯油 446ℓ 紙類（古紙） 最大貯蔵250.000kg 1日最大50.000kg

※ 環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は
遵守されていました。なお、違反、訴訟等も過去3年間ありませんでした。

3-5, 次年度以降の目標

項目	種類	数値	基準値 (R4年度)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
				目標値	目標値	目標値
二酸化炭素 排出量削減	使用電力の削減	CO2排出量目標(kg-CO2/年)	22,115	21,672(-2%)	21,451(-3%)	21,230(-4%)
	燃料の削減	CO2排出量目標(kg-CO2/年)	113,890	111,612(-2%)	110,473(-3%)	109,334(-4%)
排水量削減	上水道利用 の削減	総量 (m ³ /年)	190	186(-2%)	184(-3%)	182(-4%)
電気使用量	-	KWh	46,461	45,531(-2%)	45,067(-3%)	44,602(-4%)
燃料削減(ガソリン車)	-	ℓ	5,063	4,961(-2%)	4,916(-3%)	4,860(-4%)
燃料削減(軽油車)	-	ℓ	35,470	34,760(-2%)	34,405(-3%)	34,051(-4%)
廃棄物削減	自社分廃棄物の削減	総量 (kg)	74,650	73,157(-2%)	72,410(-3%)	71,664(-4%)



4, 環境コミュニケーション

4-1, ◆外部コミュニケーション

平成28年1月より、山形市の社会福祉法人の作業所(障害者就労施設)をモデルケースとして、「有価物の商品化のお手伝い」をしていただきながら、分別の大事さや自然の大切さの話をさせていただいております。



4-2, ◆内部コミュニケーション

社内の鍵管理ボードに、車両毎燃費が確認できるようにし、エコ運転の大切さやCO2排出削減の意識づけを図っている。



5, 代表者による全体評価と見直しの結果

平成27年12月より開始させていただいたエコアクションですが、9年目に突入し、改善されてきている所も多くみられ、外部からの苦情などもなく、良い方向性が見られると思います。

2023年度はコロナも5類に移行され、世の中の流れは活発化してきたと思う年でした。

しかしながら世界的に目を向けると物価高騰、燃料価格高騰という現状にあります。この現状から、燃料、電気の削減は環境保護からも第一命題です。

車両のほうはできる限りエコカーに切り替えていきたいと考えております。

まずはエコドライブを徹底していくように努力していきます。

目に見えるエコアクションの活動を基本として進め、

利益確保に努めていきたいと思います。

循環型社会推進する第一の会社になる為、努力して参ります。

有限会社 金子商事

代表取締役社長 金子 忠一